

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市天文台
2	指定管理者	株式会社仙台天文サービス
3	指定期間	平成20年7月1日から平成50年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成27年度 204,802人 平成28年度 179,436人(前年度比 87.6%) 平成29年度 144,052人(前年度比 80.3%) ※10年目展示・機器更新に伴い平成30年1～2月展示室休止, 3月全館休館
		《事業》 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体現象の解説 天文学に関する観測研究並びに資料の収集, 保管及び展示 天文学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行 学校理科教育における天体の観察実習の指導助言 等
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 742,760千円(722,032千円) ※PFI事業のサービス購入費施設整備費相当分を含む ・ その他市が負担した費用 1,375千円(1,775千円) ()は前年度決算額
		《収入》 ・ 観覧料収入 48,563千円(59,936千円) ・ 使用料収入 18千円(34千円)
6	利用者の声	《実施状況》 施設内にアンケート用紙を設置し、利用者の声を把握している。また、統計的な分析を行い、維持管理・運営業務の改善に活用している。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的や役割を理解した上で、市民の宇宙に関する興味・関心に応え、深めることができるよう、天文台・博物館としての質の向上に取り組んでいる。	S
II	施設の運営管理体制	各業務に必要とされる資格や専門的な知識を有する職員を適切に配置している。また、事故防止や災害発生時の対応等について、ミーティング等において情報共有が図られている。また、スタッフサポーター(ボランティア)に対しても、スキルアップ等の支援が実施された。	S
III	施設・設備の維持管理	天文台利用者が施設を快適に利用できるよう、建築・設備の保守、清掃、警備等を適切に行っている。また、環境負荷の低減に資する取り組みを行っている。	S
IV	サービスの質の向上	天文台利用者に宇宙を身近に感じてもらえるような様々な事業を展開しており、地元出身のアーティスト等とのコラボレーションも行われている。 また、イベント情報や天体の観測成果等を天文台ウェブサイト随時掲載したほか、フェイスブック等のソーシャルメディアを有効に活用した効果的な広報が行われている。	S

V	施設固有の基準	経営の健全性を確保するため、保険加入などリスク管理を適切に行うとともに、PFI事業の要求水準を達成するよう努力している。	S
---	---------	--	---

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1	独自事業の実施	「にぎわい」と「活気」の創造をコンセプトに、民間事業者独自のノウハウを活かし、広く市民に天文に興味を持っていただく機会を提供している。
2		
3		
加点評価		A

四 評価総括

《指定管理者（株式会社仙台天文サービス）による自己評価》
<p>仙台市天文台は、2008年に仙台市西公園から錦ヶ丘に移転し、PFI方式によって民間が運営・維持管理を担当してからひとつの節目である10年目を迎えた。</p> <p>平成29年度も、「宇宙を身近に」を理念に掲げ、「WE♡天文台」を中期計画のビジョンに、引き続き市民に親しまれる施設、憩いの施設として、仙台市から示されている「要求水準」を着実に実行するとともに、社会教育・生涯学習施設としての価値を高める施設運営に取り組んだ。</p> <p>また、平成29年度は事業計画に基づく展示更新の年でもあり、主に展示室のリニューアルをメインに、施設の修繕更新を行った。特に3月は全館休館で来館者には多大なご不便をお掛けしたが、おかげ様で、また新たなコンセプトでの展示室で、この先10年の再スタートを切る事が出来た。</p> <p>施設の使命である、市民が宇宙や天体を通して自然や科学について学べるようにするとの理念に関しては、設備やスタッフの充実とともに発展しており、地元教育研究機関との連携強化により活動の幅が広がっている。天文分野の教育をより専門的、効果的に行う場としての天文台は、社会教育施設としての利用が高まり天文学の普及啓発に引き続き寄与している。</p> <p>平成29年度の実入館者数は、144,052人(179,436人)、観覧料等収入は48,581,690円(59,971,260円)であった。【注：()は前年実績】実績値の内訳で単純に入館状況の背景を分析すると、各種イベントの企画及び実行、特に300万人達成イベントはプラス要素、10年目修繕更新に伴う1～2月の展示室閉鎖、3月の全館休館はマイナス要素の影響を加味している。</p> <p>施設・設備の維持管理については、事業計画で提示した維持管理月間作業に基づき、日常・定期及び法定点検を確実に実施し、結果は関係部署や所管する生涯学習課に結果報告を行い、施設内外の設備、建物の安全及び美観を保つため、設備の保守点検や清掃を適切に行った。点検により発見された不具合は一覧表で経過と修繕状況を管理のうえ、こちらも月間モニタリングで所管する生涯学習課へ定期報告を行っている。環境負荷管理については、空調等の温湿度の適切な設定で節電に努め、また、受付カウンターモニターで環境負荷情報を新たに公開する事で開かれた管理を推進し始めている。</p> <p>プラネタリウム放映における星空の時間は、引き続き「今夜の星空散歩」と題し、仙台市天文台がある錦ヶ丘の夜空を眺めながら星空の楽しみ方をスタッフ共々が様々なアレンジを加え、生解説で紹介している。また、仙台市天文台ならではの地元ネタや旬の話題、時には笑いも織り交ぜながら、宇宙に関する興味や関心を誘い、安らぎや感動を与えられるような演出を心がけた。</p> <p>展示室では、新たに導入エリアを新設し、3面スクリーンで宇宙空間に自分が飛び出した感覚を体験頂く事で宇宙への誘いを演出している。スタッフと来場者のコミュニケーションもより活発に、各種イベントや毎週土曜日に開催する土佐台長によるトワイライトサロンを通して「にぎわいの創出」を意識した活動を行ってきた。</p> <p>来館者アンケートではお客さまからのご意見・ご要望についても、随時適切に対応しており、台内会議で改善事項を確認し、掲示板やWebサイトで公表している。平成30年度も当施設の使命を忠実に遂行し、市民の方々や来館者のニーズに応える施設となるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>利用者は依然として現施設開台前の想定を大きく上回っており、平成29年度中に述べ入館者数が300万人を突破している。これは、指定管理者が利用者のニーズを把握し、効果的に広報を行いながら様々な企画を展開し、利用者サービスの向上に努めている結果と評価できる。</p> <p>天文台学習は平成23年度から指定管理者によって実施されているが、要求水準に基づき適切に実施されている。また、利用者からの意見や要望を職員会議で共有し、改善事項について組織的に検討している点は評価できる。</p> <p>平成29年度は現施設が開台して10年目であり、展示リニューアルを含めた施設の更新・修繕を行った。施設の更新・修繕にあたっては事業者が主体となり、遅滞なく適切に行われた点も評価できる。</p> <p>また、地元の大学や他の社会教育施設と連携した展示やイベントも行われており、相乗効果の発揮や天文台事業のさらなる質の向上が期待される。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課